

教育哲学研究

第 121 号

2020

研究討議 HIROSHIMA という記憶の継承と和解：日独韓の声の交わりに見る表象の刷新

研究討議「HIROSHIMA という記憶の継承と和解：日独韓の声の交わりに見る

表象の刷新」へのまえがき丸山 恭司

ドイツにおけるヒロシマの遺産 — 歴史と今日の課題 —ローター・ヴィガー

他者の語りに開かれた市民を育てる — 「広島平和記念資料館の『The last 10 feet』

再デザイン」プロジェクトと「より良い『ヒロシマ』教科書づくり」プロジェクトを

事例に —金 鍾成

司会によるコメントと討論の総括山名 淳

課題研究 The Globalization, Internationalization, and Universality of the Philosophy of Education

多様性、言語、そして教育哲学を通じた自己発見リズ・ジャクソン

哲学、教育、翻訳：双方向的な学術交流に向けて齋藤 直子

指定討論 1 グローバル化した世界において教育哲学が抱える言語の問題に関する考察

.....ローター・ヴィガー

指定討論 2 翻訳の可能性と困難性 — シティズンシップと越境をめぐる問題に着目して —

.....小玉 重夫

指定討論 3 言語の際を超えて

.....今井 康雄

課題研究に関する総括的報告

.....岡部 美香 / 小野 文生

論文

フランスにおける最初期ペスタロッチ受容の思想的基盤

— マルク＝アントワーン・ジュリアン以前の動向に着目して —吉野 敦

デュイ自然主義における質感—サブジェクト—意味の動態

— メディウムとしての更新者 —井上 環

リベラルな自然主義の展開と人間の自然性

— 自然・規範・教育の再定位 —三澤紘一郎

エッセイ

二一世紀における教育観の転換

— 直進の文明と逍遙の文化の対立を調停する —松下 良平

教育哲学を考える

教育哲学を「教える／学ぶ」と「伝える／受け継ぐ」

.....室井 麗子

研究状況報告

ケンブリッジ学派の方法論が切り開くペスタロッチ研究の展望と課題

—— ルソー政治思想研究者との対話を通して —— 椋木 香子

教育における分配的正義論の可能性

..... 高宮 正貴 / 児島 博紀 / 橋本 憲幸 / 平井 悠介 / 玉手慎太郎

科学・技術の革新は教育と教育学にどのような変革を迫るのか —— 産業構造の転換と

教育（哲）学の課題 ——

..... 松浦 良充 / 杉田 浩崇 / 間篠 剛留

ディシプリンとしての教育学をめぐる合同討論会 —— 『続・日本教育学の系譜』刊行に

寄せて ——

..... 小笠原道雄 / 森田 伸子 / 田中 每実 / 丸山 恭司

教育哲学研究は道德授業にどう貢献できるか

..... 企画者：鈴木 篤 / 山岸賢一郎

提案者：塚野 慧星 / 田中 智輝 / 山中（植田） 翔 / 宮川 幸奈

臨床現象学 —— 地を這うフィールドワーク

..... 司会者：西平 直 企画・提案者：大塚 類 / 奥井 遼

教育哲学と社会批判の（不）可能性

..... 生澤 繁樹 / 室井 麗子 / 藤井 佳世

教育哲学の現在

次世代育成企画委員会の活動と展望

..... 下司 晶

書評

白銀夏樹著『アドルノの教育思想 —— 『アウシュヴィッツ』以降の啓蒙』

..... 関根 宏朗

田中智志編著『教育哲学のデューイ —— 連環する二つの経験 —— 』

..... 柳沼 良太

図書紹介

西平直著『稽古の思想』

..... 奥井 遼

田中智志著『教育の理念を象る —— 教育の知識論序説』

..... 下地 秀樹

柳沼良太著『プラグマティズム、公共、道德 —— 教育の新たな可能性を求めて —— 』

..... 林 泰成

坂越正樹監修、丸山恭司・山名淳編『教育的関係の解釈学』

..... 伊藤 敏子

学会報告・第62回大会報告

教育哲学会奨励賞

英文摘要

教育哲学会